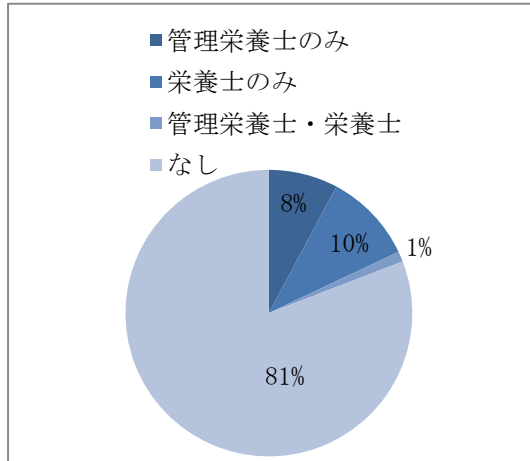


平成30年度「栄養管理状況報告書」結果のまとめ(児童福祉施設)

1 施設状況等

施設種別	総数	栄養士配置あり	栄養士配置なし	配置率 (%)
保育園	201	28	173	13.9
認定こども園	50	18	32	36.0
その他	5	3	2	60.0
合計	256	49	207	19.1

図1 管理栄養士・栄養士の配置(施設専任者の配置:委託栄養士含む)



- ・市立保育園の場合、栄養士は担当課に配置され、園への配置がない。そのため配置がある園のほとんどが私立保育園である。
- ・認定こども園(幼保連携型・保育所型)が増加している。
H29年度37施設→H30年度50施設(約1.4倍)

2 身体状況及び栄養管理状況

(1) 肥満・やせの状況(3~5歳児)

図2 肥満の出現率別施設数

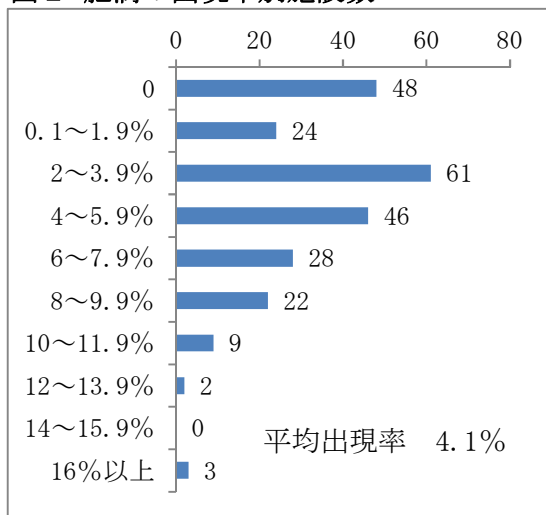
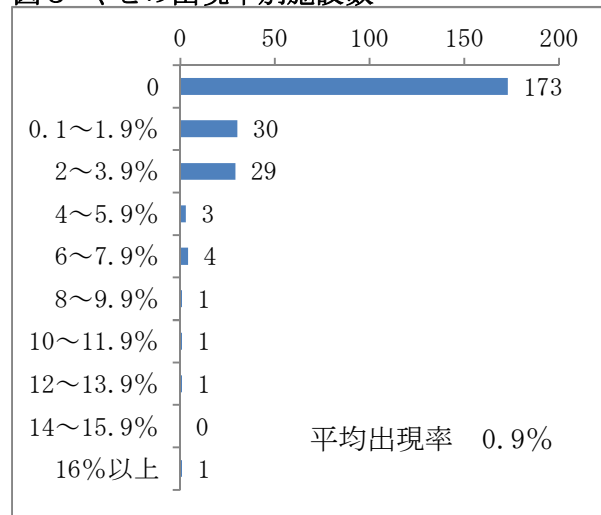


図3 やせの出現率別施設数



- ・肥満が平均出現率を超えている施設は52施設(21.4%)
H29年度は平均出現率を超えた施設が41%と高かったが、H30年度については減少した。
- ・やせの平均出現率は0.9%であり、ゼロの施設が71%を占める。
- ・肥満・やせの出現率が16%以上となっている施設もいくつか認められた。

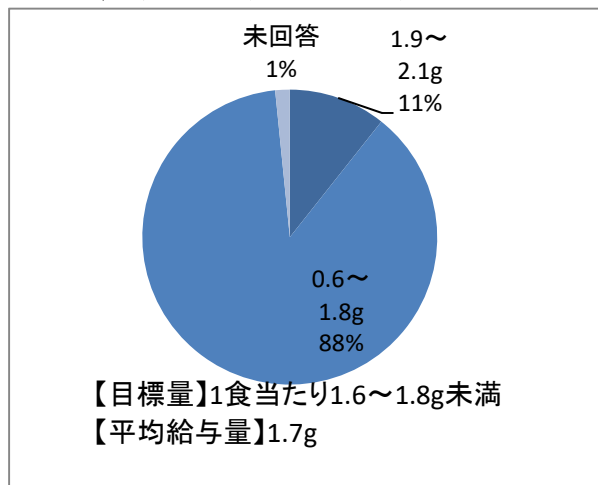
(2) 栄養管理状況

図4 栄養表示や調査の状況



- ・栄養成分表示、摂取量調査については90%を超える施設で実施されている。
 - ・対象者による評価は199施設（78%）で行われている。
- 摂取量調査と併せ、食事内容調査やし好調査を行うことで、日々の給食管理につなげていただきたい。

図5 食塩給与量（3～5歳児）



- ・目標量は「日本人の食事摂取基準（2015年版）」をもとに、新潟市保育課の手引きより1日の40%とした。（昼食及びおやつ）
- ・食塩給与量が、目標量（1.8g未満）の給食を提供している施設は222施設（88%）であった。
- ・2gを超えている施設は12施設であった。

3 危機管理体制について

図6 非常食の備蓄

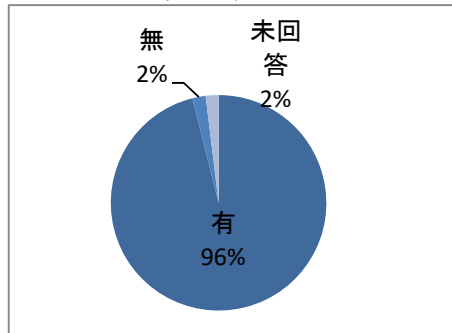
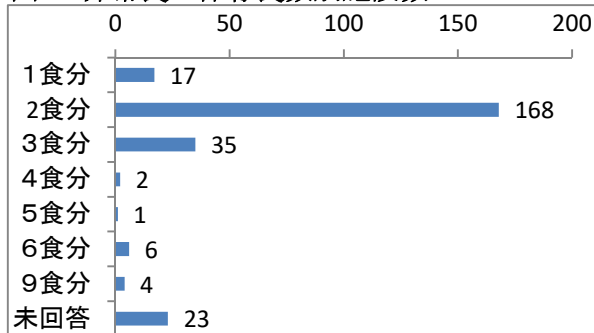


図7 非常食の保存食数別施設数



- ・非常食の備蓄のない施設が5施設あったため、改善が望まれる。
- ・非常食の保管について、168施設（66%）の施設で2食分保管されている。
- ・乳幼児向けの非常食については、市での準備も十分とは言えないため、各施設で2食分程度の保管が望まれる。また、非常食の内容についてはアレルギーに配慮したものが望まれる。